

愛知県経済の現状と見通し＜2025年10月＞

1. 景気判断 一覧表




部門	個別項目	水準評価 ※1	基調判断(前月比較)※2	
				詳細
総括判断	景気の現状	 		緩やかに持ち直している 住宅投資に弱さがみられるものの、県内景気は緩やかに持ち直している。
家計部門	個人消費	 		緩やかに増加している 百貨店販売額は4か月ぶりの前年比増加
	雇用			回復傾向が一服している 有効求人倍率は4か月連続の前月比低下
	住宅投資			弱含んでいる 住宅着工戸数は5か月連続の前年比減少
企業部門	企業活動			足踏み 鉱工業生産指数は2か月ぶりの前年比上昇
	企業倒産			悪化しつつある 企業倒産件数は2か月ぶりの前年比減少
海外部門	輸出			減速の兆しがみられる 名古屋港通関輸出金額は4か月ぶりの前年比増加
公共部門	公共投資			持ち直している 公共工事請負金額は7か月連続の前年比増加

当面の見通し	緩やかに持ち直す見通し
	景気は緩やかな持ち直しが続くと思われる一方、物価高や海外経済の減速による景気下押し圧力が強まる可能性も。

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、

: 晴、: 晴～曇、: 曇、: 曇～雨、: 雨、を示す。

※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、

: 上方修正、: 据え置き、: 下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)
したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

お問い合わせ先	三十三総研 調査部 古橋
	電話: 059-354-7102 Mail: 33ir@33bank.co.jp

○個人消費は、緩やかに増加している。

○個人消費の動向を支出側からみると、8月の消費支出(勤労者世帯、名古屋市)は、前年比+12.2%と2か月連続の増加(図表1)。住居(同+395.4%)や教養娯楽(前年比+58.9%)などが増加したことが背景。

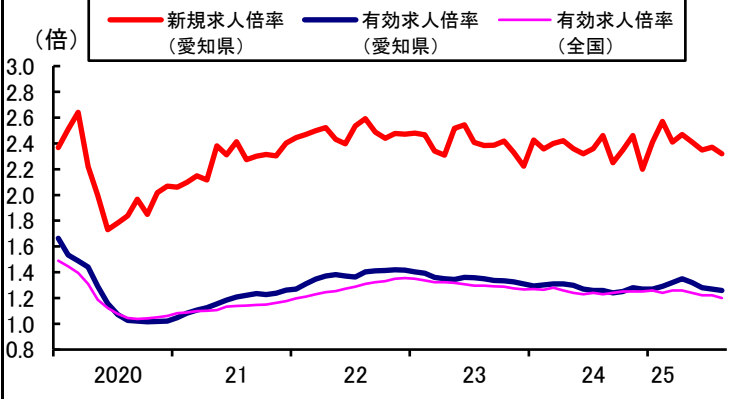
○個人消費の動向を販売側からみると、8月の百貨店販売額は、前年比+7.7%と4か月ぶりの増加。長引く残暑で盛夏商材が好調に推移したことなどが背景。スーパー販売額は同+1.3%と10か月連続の増加(図表2)。商品別にみると、衣料品は8か月連続で減少した一方、飲食料品は10か月連続で増加し、全体を押し上げ。

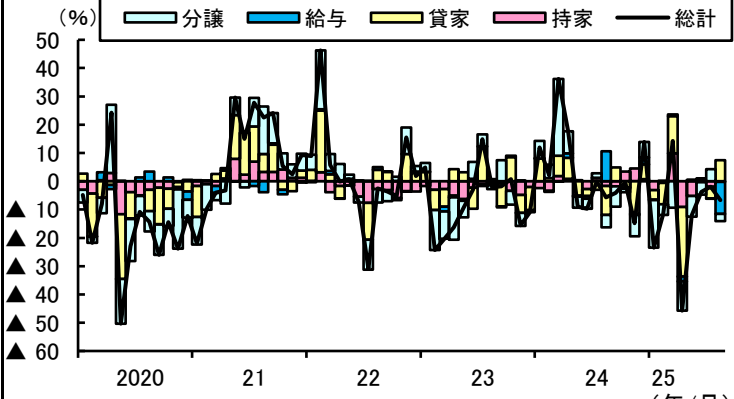
○9月の新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)は、前年比▲2.3%と3か月連続の減少(図表3)。内訳をみると、普通車(同+0.9%)が3か月ぶり、軽乗用車(同+8.3%)が2か月連続で増加したものの、小型車(同▲22.9%)が3か月連続で減少。

《見通し》

○所得環境が改善することを主因に、増加基調の継続が期待される。一方、物価上昇の影響による節約志向の高まりから、増加ペースが鈍化する懸念も。

(資料)中部経済産業局「管内百貨店・スーパー販売概況」

雇用	水準評価				
	基調判断	前月比較	→	詳細	回復傾向が一服している
<div>「＜現状＞」</div> <div>○雇用は、回復傾向が一服している。</div> <div>○8月の雇用環境をみると、有効求人倍率は1.26倍（前月差▲0.01ポイント）と4か月連続の低下。一方、新規求人倍率は2.32倍（同▲0.05ポイント）と2か月ぶりの低下（図表4）。新規求人数は前年比▲3.9%と2か月ぶりの減少。業種別にみると、卸売業、小売業（同▲12.1%）や医療、福祉（同▲4.4%）などが減少。</div> <div>「＜見通し＞」</div> <div>○日米関税交渉が合意に至ったことを受け、先行き不透明感が払拭されたことから、自動車産業等の製造業の労働需要は底堅く推移する見通し。また、内需の底堅さを受け非製造業の労働需要も堅調に推移、雇用環境を下支えする見通し。</div>					
<div><div>◆8月 求人倍率(季節調整値)</div><div>・有効求人倍率:1.26倍 前月差▲0.01ポイント(4か月連続の低下)</div><div>・新規求人倍率:2.32倍 前月差▲0.05ポイント(2か月ぶりの低下)</div><div>◆8月 新規求人数(原数値)</div><div>・前年比 ▲3.9% (2か月ぶりの減少)</div></div> <div><div>図表4</div><div>有効・新規求人倍率＜季節調整値＞</div><div></div><div>(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」</div></div>					

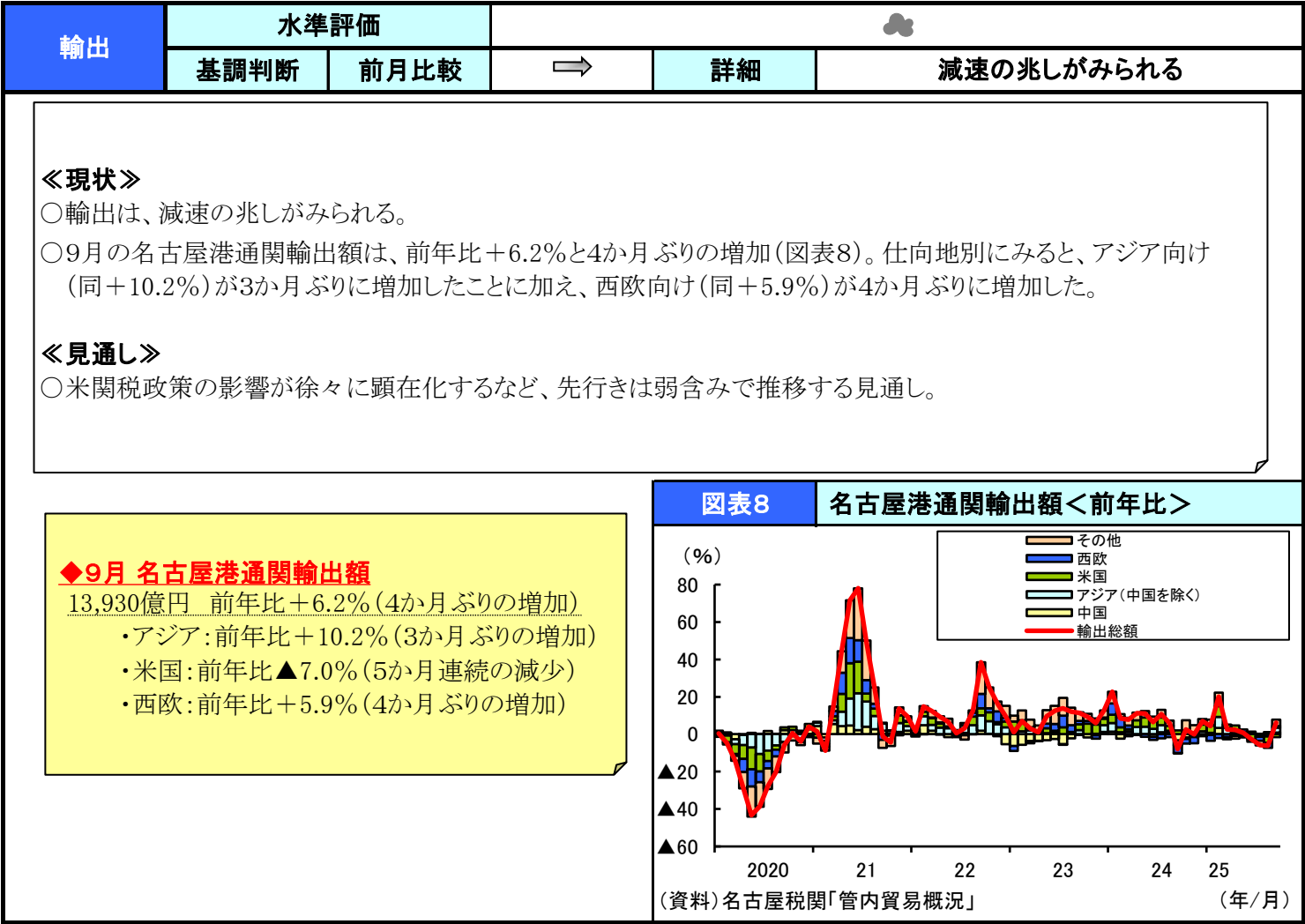
住宅投資	水準評価				
	基調判断	前月比較	→	詳細	弱含んでいる
<div>「＜現状＞」</div> <div>○住宅投資は、弱含んでいる。</div> <div>○8月の住宅着工戸数は、前年比▲6.7%と5か月連続の減少（図表5）。利用関係別にみると、貸家（同+26.9%）が増加した一方、持家（同▲0.7%）、給与住宅（同▲98.9%）や分譲住宅（同▲7.6%）が減少。</div> <div>「＜見通し＞」</div> <div>○先行きは資材価格の高止まりなどに伴う住宅価格の上昇、金融政策の変更に伴う住宅ローン金利の上昇懸念に加え、2025年4月から建築物省エネ法と建築基準法が改正されたことによる省エネ基準の厳格化を受け、住宅投資が抑制される可能性も。</div>					
<div><div>◆8月 住宅着工戸数</div><div>4,543戸 前年比▲6.7% (5か月連続の減少)</div><div>・持家:1,349戸 前年比▲0.7% (5か月連続の減少)</div><div>・貸家:1,701戸 前年比+26.9% (2か月ぶりの増加)</div><div>・分譲:1,487戸 前年比▲7.6% (2か月ぶりの減少)</div></div> <div><div>図表5</div><div>新設住宅着工戸数＜前年比＞</div><div></div><div>(資料)国土交通省「住宅着工統計」</div></div>					

3. 個別部門の動向: 企業部門

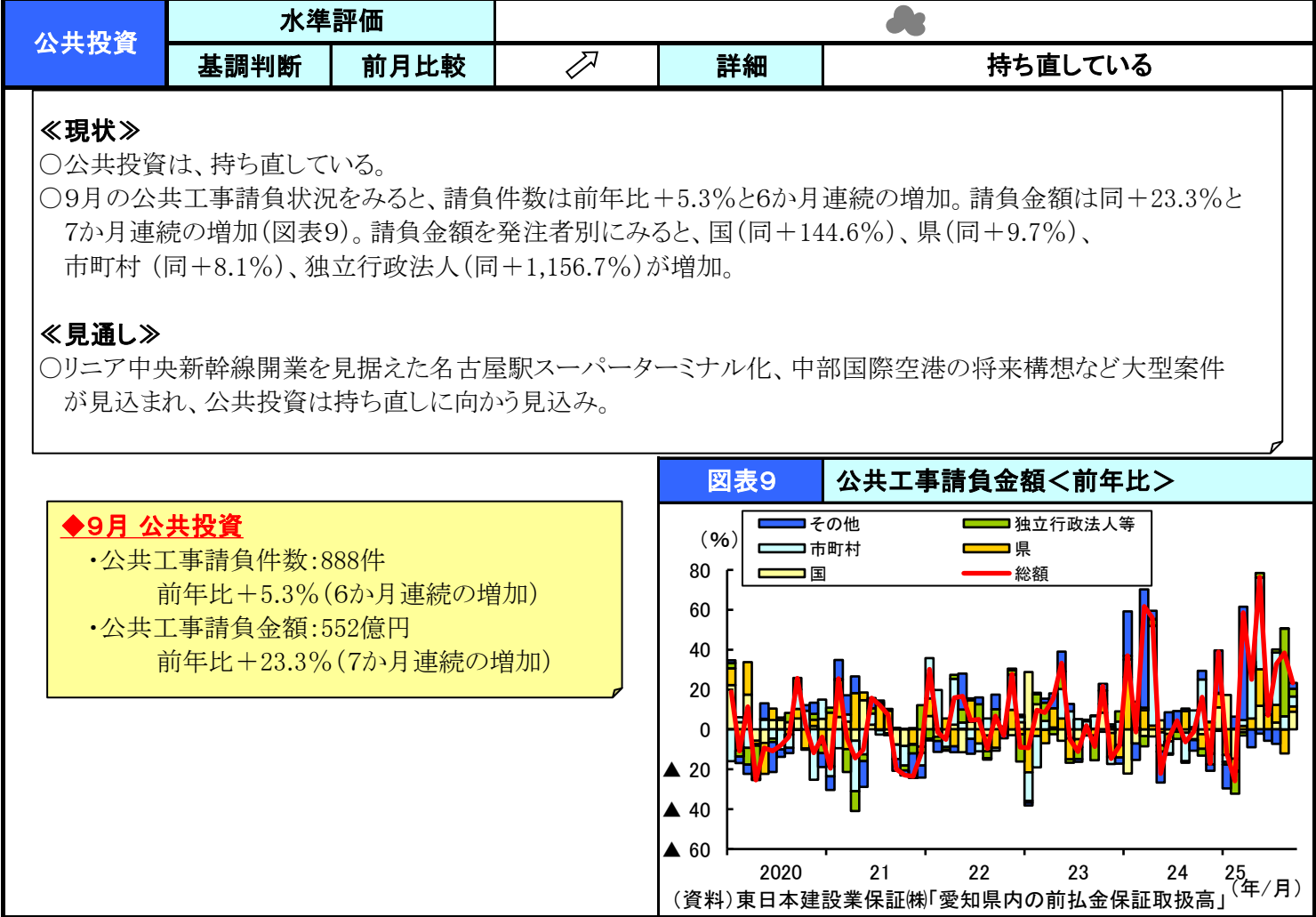
企業活動	水準評価				
	基調判断	前月比較	→	詳細	足踏み
<div> <div> <p>《現状》</p> <p>○企業の生産活動は、足踏み。</p> <p>○8月の鉱工業生産指数は、前年比+2.1%と2か月ぶりの上昇(図表6)。鉄鋼業(同+2.0%)が2か月ぶり、化学・石油・石炭工業(同+5.0%)が4か月連続で上昇。</p> <p>《見通し》</p> <p>○先行き生産は、日米関税交渉が合意に至り、自動車にかかる関税は当初の25%から15%に引き下げられ、予想していたシナリオより影響が緩和されることや不透明感が払拭されたことから、持ち直しの傾向となる見通し。</p> </div> <div> <p>◆8月 鉱工業生産</p> <p>前年比+2.1%(2か月ぶりの上昇)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送機械: 前年比±0.0%(横這い) ・鉄鋼: 前年比+2.0%(2か月ぶりの増加) ・化学・石油・石炭: 前年比+5.0%(4か月連続の上昇) ・電気機械: 前年比+1.2%(8か月連続の上昇) </div> </div> <div> <p>図表6 鉱工業生産指数<前年比></p> <p>(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」</p> </div>					

企業倒産	水準評価				
	基調判断	前月比較	→	詳細	悪化しつつある
<div> <div> <p>《現状》</p> <p>○企業倒産は、悪化しつつある。</p> <p>○9月の県下倒産状況(負債総額1,000万円以上)をみると、倒産件数は58件(前年比▲1件)と2か月ぶりの減少。負債総額は45億円(同▲14億円)と3か月連続の減少(図表7)。</p> <p>《見通し》</p> <p>○「ゼロゼロ融資」利用後の倒産は、2023年1月開始の「コロナ借換保証」など、金融機関の柔軟なリスク対応によって減少の動きも見られる一方、支援策の副作用で生じた過剰債務など、根本的な問題は解消していない点に留意が必要。物価高や人件費の上昇などコスト負担増加しており、収益悪化が続くと企業倒産は増勢基調をたどる懸念も。</p> </div> <div> <p>◆9月 企業倒産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒産件数:58件 前年比▲1件(2か月ぶりの減少) ・負債総額: 45億円 前年比▲14億円(3か月連続の減少) </div> </div> <div> <p>図表7 倒産件数・負債総額<前年比></p> <p>(資料)㈱東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」 (注)負債総額1,000万円以上</p> </div>					

4. 個別部門の動向:海外部門



5. 個別部門の動向:公共部門



県内経済トピックス

(2025年9月)



1. 愛知県 南知多町で乗り合いバス 実証実験

- 9月16日、愛知県は交通空白地域での新しい移動手段を探ろうと、南知多町で生成人工知能(AI)を使い、運行ルートを決める乗り合いバス「チョイソコみなみちた」の実証実験を始めた。
- チョイソコみなみちたの運行に決まったルートはなく、乗客の乗り降りする停留所に合わせ、AIが最適なルートを選び運行する。乗客は事前に会員登録し、電話かインターネットで乗車を申し込む。料金は1回400円。
- 運行を担う名鉄知多タクシーによると、運転手不足により、配車が間に合わない地域があり、タクシー業界にとっても、人材不足解消の糸口として期待される。石黒町長は「価値あるデータが取れたら」と期待を寄せた。

2. スマホ1日2時間条例成立 全国初、豊明市で10月1日施行

- 9月22日、豊明市でスマートフォンの利用を1日2時間以内とする条例が市議会で成立した。市によると、全住民を対象に使用時間の目安を明示した条例は全国初。
- 条例は10月1日から施行。条例ではスマホやタブレット、ゲーム機器の過度な使用が生活リズムの乱れや健康面に影響を及ぼすほか、家族間の対話時間を短くするなど指摘。条例に強制力はなく、義務や罰則の規定はない。
- 小浮市長は「2時間というのはあくまで目安。スマホやゲームを否定していない。ただ、『使いすぎで睡眠時間を削るのは控えてもらいたい』ということはアピールしたい」などと話した。

3. 「ツーリズムEXPOジャパン」愛知県で開幕

- 9月25日、国内外の旅行業者らによる最大級の見本市「ツーリズムEXPOジャパン2025」が愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」で開幕。同イベントは28日まで開かれた。
- 関西や関東にインバウンド(訪日客)が集中する中、東海・北陸地方の魅力ある観光資源をアピールした。
- 全国の訪日観光客数は2024年に過去最高を更新したが、東海4県はコロナ禍前の2019年より1割少ない。中部地方では初開催となり、インバウンド誘客のきっかけになることが期待される。

(出典)日本経済新聞、中日新聞

景 気 指 標

三十三総研
2025/10/31

<愛知県>

(注) ()内は前年同期(月)比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2023 年	2024 年	2024年 10～12月	2025年			2025年				
				1～3月	4～6月	7～9月	5月	6月	7月	8月	9月
大型小売店販売額	(2.2)	(3.7)	(1.8)	(2.8)	(1.8)		(2.7)	(▲ 0.3)	(1.7)	(2.9)	
百貨店	(11.1)	(6.8)	(2.1)	(1.4)	(▲ 3.0)		(▲ 2.7)	(▲ 5.9)	(▲ 1.4)	(7.7)	
スーパー	(▲ 1.1)	(2.3)	(1.7)	(3.5)	(3.9)		(5.0)	(2.3)	(3.1)	(1.3)	
新車登録・販売台数(台)	226,984 (20.1)	210,640 (▲ 7.2)	53,452 (▲ 3.9)	62,937 (12.9)	49,452 (7.3)	51,901 (▲ 6.2)	15,919 (7.5)	18,779 (10.6)	18,703 (▲ 1.3)	13,273 (▲ 12.1)	19,925 (▲ 6.5)
有効求人倍率(季調済)	1.35	1.28	1.26	1.29	1.31		1.32	1.28	1.27	1.26	
新規求人倍率(季調済)	2.40	2.36	2.35	2.47	2.41		2.41	2.35	2.37	2.32	
名目賃金指数(調査産業計)	(1.6)	(1.8)	(2.7)	(1.9)	(1.4)		(0.5)	(2.2)	(1.9)		
実質賃金指数(同)	(▲ 2.0)	(▲ 1.3)	(▲ 1.3)	(▲ 2.6)	(▲ 2.5)		(▲ 3.6)	(▲ 1.6)	(▲ 1.9)		
所定外労働時間(同)	(▲ 0.4)	(▲ 5.8)	(▲ 5.9)	(▲ 0.9)	(0.9)		(1.9)	(0.0)	(0.0)		
常用雇用指数(同)	(▲ 0.4)	(1.0)	(0.9)	(1.4)	(0.8)		(0.6)	(0.9)	(0.5)		
新設住宅着工戸数(戸)	54,685 (▲ 7.7)	56,119 (2.6)	13,689 (▲ 1.0)	14,017 (▲ 5.2)	10,385 (▲ 22.3)		3,360 (▲ 12.1)	4,236 (▲ 3.8)	4,835 (▲ 1.9)	4,543 (▲ 6.7)	
鉱工業生産指数	(8.6) -	(▲ 8.8) -	(▲ 3.2) < 2.1>	(4.5) < 3.3>	(9.2) <▲ 3.1>		(▲ 0.4) < 4.1>	(3.6) <▲ 3.5>	(▲ 2.5) <▲ 0.1>	(2.1) <▲ 0.6>	
企業倒産件数(件)	532	611	155	160	162	177	55	55	63	56	58
(前年同期(月)差)	(162)	(79)	(11)	(21)	(16)	(6)	(▲ 10)	(15)	(▲ 6)	(13)	(▲ 1)
民間非居住建築物着工床面積(千㎡)	3,527 (▲ 4.4)	2,735 (▲ 22.4)	726 (▲ 39.9)	689 (25.9)	756 (▲ 4.5)		245 (16.4)	244 (7.1)	199 (11.5)	291 (52.8)	
名古屋港 輸出(億円)	151,877 (8.4)	161,707 (6.5)	43,356 (3.2)	40,905 (8.8)	39,818 (0.1)	40,141 (▲ 2.1)	12,170 (0.8)	13,511 (▲ 2.7)	14,245 (▲ 5.8)	11,966 (▲ 6.2)	13,930 (6.2)
公共工事請負金額(億円)	5,502 (3.7)	6,346 (15.3)	921 (11.6)	1,584 (26.6)	3,560 (30.0)	1,885 (31.4)	867 (76.3)	697 (7.1)	790 (32.8)	543 (38.4)	552 (23.3)
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	(3.0)	(2.7)	(3.1)	(3.5)	(3.6)	(3.0)	(3.9)	(3.5)	(3.2)	(2.8)	(2.9)

<東海3県(愛知・三重・岐阜)>

	2023 年	2024 年	2024年 10～12月	2025年			2025年				
				1～3月	4～6月	7～9月	5月	6月	7月	8月	9月
大型小売店販売額(全店)	(1.6)	(2.7)	(0.7)	(1.9)	(1.6)		(2.6)	(▲ 0.1)	(1.0)	(2.7)	
同 (既存店)	(0.9)	(3.2)	(1.8)	(2.8)	(1.7)		(2.4)	(▲ 0.1)	(1.4)	(1.9)	
新設住宅着工戸数(戸)	73,459 (▲ 8.3)	72,757 (▲ 1.0)	17,880 (▲ 1.8)	18,545 (▲ 1.5)	13,669 (▲ 21.8)		4,392 (2.1)	5,333 (2.6)	6,167 (3.1)	5,790 (2.9)	
有効求人倍率(季調済)	1.39	1.31	1.29	1.31	1.31		1.32	1.28	1.29	1.27	
新規求人倍率(季調済)	2.39	2.35	2.34	2.41	2.35		2.35	2.30	2.35	2.33	
鉱工業生産指数	(3.5) -	(▲ 2.8) -	(▲ 1.1) < 2.0>	(7.0) < 3.7>	(1.0) <▲ 4.2>		(▲ 3.4) < 5.1>	(4.5) <▲ 4.0>	(▲ 1.0) <▲ 1.2>	(▲ 1.4) < 0.6>	
企業倒産件数(件)	799	868	223	220	209	263	68	75	102	77	84
(前年同期(月)差)	(265)	(69)	(7)	(24)	(0)	(23)	(▲ 21)	(13)	(8)	(4)	(11)
域内外国貿易 純輸出(億円)	88,899	99,401	28,206	23,384	24,488	24,248	6,382	9,073	9,174	6,649	8,425
輸出(億円)	212,571 (11.5)	225,311 (6.0)	60,353 (0.7)	56,625 (6.9)	55,354 (▲ 0.6)	55,837 (▲ 0.8)	16,611 (▲ 0.9)	18,941 (▲ 1.9)	19,747 (▲ 5.3)	16,496 (▲ 5.9)	19,594 (9.3)
輸入(億円)	123,672 (0.1)	125,911 (1.8)	32,147 (▲ 2.2)	33,242 (12.7)	30,865 (▲ 2.1)	31,589 (▲ 3.6)	10,229 (▲ 1.5)	9,867 (0.7)	10,573 (▲ 7.8)	9,847 (▲ 6.7)	11,170 (4.0)